

玉川町 防災まちづくり活動ニュース

平成27年9月発行 いわき市 危機管理課

第1回防災まちづくりワークショップを実施しました

平成27年9月5日(土)午前10時から玉川会館にて、玉川地区自治会の役員や防災対策委員会のメンバーを中心とする皆さまで「第1回玉川町地区防災まちづくりワークショップ」を実施しました。

「防災まちづくりワークショップ」は、いわき市内の3地区で地域の助け合いによる防災力向上に向けて実施します。地区の住民のみなさんの話し合いにより、ハザードマップや計画づくりを進めるもので、平成27・28年度にわたり全10回行います。

第1回目は23名(地区住民19名、小名浜支所1名パートナー参画3名)が参加し、地域の防災力の向上に関する「学習」と、これまでの災害や取組についての「意見交換(ワークショップ)」を行いました。(詳しい内容は裏面参照)



「学習」の内容では、これからのワークショップに先立ち、過去の災害の教訓や、地域の防災力の向上の必要性、法律改正で新たに設けられた「地区防災計画制度」等について、市役所より説明を行いました。

ワークショップでは、3テーブルに分かれて、東日本大震災などの経験や、防災上での不安や備えについて、お一人お一人の体験や意見を出し合い、最後に、テーブルごとの話し合いの内容を発表しました。

次回は、地図を用いて、より具体的に課題を話し合っていく予定です。2回目からでも参加できますので、地区の防災に関心のある方は是非参加してみませんか。(お問い合わせ先は下欄をご覧ください。)



◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市行政経営部危機管理課：植野(うえの)、久野(ひさの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))

★ 第1回ワークショップで話し合った内容 ★

■過去の災害の教訓・地域の防災力の向上の必要性等に関する学習

- 自分の身は自分で守る「自助」、近隣が互いに助け合って地域を守る「共助」、行政機関等による支援の「公助」のうち、自助・共助が特に重要です。
- 昨年11月の長野北部地震でも、近隣住民での救助活動が多く見られました。
- 地域を維持し防災力を高めるには、地区住民の皆さまをはじめ、学校等さまざまな関係機関どうしの連携が必要です。

■意見交換(ワークショップ)

○災害の経験など(東日本大震災・大雨等)

- ・東日本大震災では、停電や長期間の断水、燃料不足などの体験をふりかえりました。
- ・また、これまでの大雨の際には、がけ崩れや道路の冠水被害が発生しており、具体的な発生箇所を地図で指差しながら、全員で共有しました。

○防災について感じていること、備えなど

- ・がけ崩れ等の被害が再び発生しうるもののほか、お年寄り世帯が多いことへの心配の声等が多く寄せられました。
- ・これまでの経験を踏まえ、家庭での備蓄や、避難の標識に関する自治会での取り組みなどが報告されました。



次回以降の防災まちづくりワークショップの予定

今年度は、下記の予定で開催します。第2回からでも参加できるプログラムとなっていますので、是非ご参加ください。【お申し込みはオモテ面下の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第2回	10月3日(土) 午前10時~12時	○地図による地区の防災上の課題の確認
第3回	11月7日(土) 午前10時~12時	○まち歩きによる防災上の課題の現地確認
第4回	12月5日(土) 午前10時~12時	○地区の防災上の課題の整理
第5回	2月6日(土) 午前10時~12時	○ハザードマップの作成 ○2年目の活動計画の検討